



2021年4月26日

第67回(令和3年度)江戸川乱歩賞 最終候補作決定のお知らせ

日本の推理作家への最高の登竜門・江戸川乱歩賞（日本推理作家協会主催）は、書き下ろし長編ミステリー小説（350～550枚）を公募し、昭和32年度の仁木悦子『猫は知っていた』以来、昨年度の佐野広実『わたしが消える』に至るまで、大型新人と傑作を輩出してきました。

また平成4年度からフジテレビジョンの後援を得まして、賞金1000万円を贈呈し、受賞作品を同局にて随時映像化しております。本年度の応募作は386編の多きに達しています。すでに予選は終了、最終候補作5編を選考委員が精読中で、下記の通り選考会を開き、受賞作を決定いたします。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、リモートでの選考会開催を予定しております。最終候補作品名をあらかじめお知らせいたします。

- 主催 日本推理作家協会（代表理事・京極夏彦）
- 後援 講談社・フジテレビジョン
- 選考委員 綾辻行人、新井素子、京極夏彦、月村了衛、貫井徳郎（五十音順・敬称略）
- 正賞 江戸川乱歩像
- 副賞 賞金1000万円
- 選考会 5月17日（月）15時～
- 受賞記者会見 5月18日（火）14時～

◆最終候補作品

「キッドナップ・ショウ」	日野瑛太郎（ひの・えいたろう）
「センパーファイ 一常に忠誠を一」	伏尾美紀（ふせお・みき）
「ドロップトキシン」	水谷朔也（みずたに・さくや）
「夜が明けたら」	箕輪尊文（みのわ・たかふみ）
「老虎残夢」	桃ノ雑派（もものざっぱ）